

# 有料老人ホームさとやま看取りパンフレット

ご家族の皆様へ  
愛する人の旅立ちにあたって

大切なご家族とのお別れはとても悲しいことではありますが、避けることのできない現実として、いつかは訪れるものです。その現実を冷静に受け止めるためには、日ごろからご家族の中で“どのように最期の時を過ごして頂くのか”を話し合っておくことが大切だと思います。当施設では看護師が24時間在駐し、各職種と連携し、最期の時まで安心した生活ができるようにサポートさせて頂いております。

## さとやまでの看取りの考え方

当施設では、ご利用者にとってなじみの場所で、親しい人に見守られ自然な死を迎えられるように、身体的・精神的苦痛や苦悩をできるだけ緩和するように心掛けています。また、ご利用者、ご家族の意向を踏まえた上で、各職種が連携し、充実した生活が送れるように支援させて頂きます。

## 各職種の役割について

### 1) 施設長

○看取りケアの統括管理を行います。

### 2) 医師

○医師の在籍はありません。かかりつけ医による24時間往診体制を取り、必要に応じて往診を行います。

○看取り期の診断を行い、ご家族へ病状の説明を行います。

○ご利用者、ご家族の意向に沿った治療を行います。

### 3) 生活相談員

○継続的なご家族の支援と連絡調整を行います。ご希望により、付き添い環境の準備、宿泊場所の提供等を行います。

○困ったことや心配ごとなどがあれば、相談員が窓口となり、ご相談させて頂きます。

### 4) 介護支援相談員

○主治医より看取りの診断が出たら、ご利用者、ご家族の御意向を基に各職種と連携しケアプランを作成します。

## 5) 看護職員

- 看取り期の全身状態の観察を行うと共に、食事量、水分量、排泄量のチェック等を行います。
- 主治医と連携し、ケアを行います。随時、ご利用者の状況を説明し、ご家族の不安の軽減に努めます。
- ご希望により、エンゼルケアを行います。

## 6) 介護職員

- 食事介助、排泄介助、清潔保持の提供、身体状況に合わせできるだけ入浴して頂きます。
- “身体的、精神的”緩和ケアと安楽な体位の工夫等を行います。
- コミュニケーションを十分に取り、状態を観察しながら安楽な生活ができるように支援します。

## 7) 栄養士

- ご利用者の状態に応じて食形態(嚥下食)や嗜好品を取り入れた食事を提供します。

## 8) リハビリスタッフ (理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)

- 安楽に最期を迎えることが出来るよう、関節可動域の維持やベット上での安楽姿勢の指導を行います。(理学療法士)
- 作業療法などを通して、最後までその人らしく、笑顔で楽しく過ごして頂けるよう、サポートします。(作業療法士)
- できるだけ最後までお口から食べる楽しみをもって頂けるよう嚥下評価し、その方に応じた形態でお食事を提供します。(言語聴覚士)

## 9) 歯科衛生士

- 発熱や唾液分泌減少等に伴う、口腔内の汚れの付着、及び乾燥に対し、口腔ケアを行い、苦痛の緩和及び肺炎の予防と口腔内の清潔保持に努めます。

## 10) 最後に

- 最期の時の過ごし方(看取りの方向性)を決定し、その意向に基づいて“看取り看護・介護”を提供させて頂きます。しかし、ご利用者の状態が変わるにつれて、ご家族の意向も変化してくることがあります。その時のお気持ちを大切にしたいと思しますので、何か心境の変化等がありましたら、遠慮なく職員にご相談して頂けたらと思います。

